



金刀比羅宮博物館施設と琴平海洋博物館 相互入館で特別割引！

2つ目に入館する施設の入館料が割引



金刀比羅宮 宝物館



文部省技師の久留正道の設計により明治38年(1905)に建てられました。香川県広島産の花崗岩である青木石で造られた二層建、屋根は入母屋造の瓦葺、玄関は唐破風造(からはぶづくり)の銅板葺、という和洋折衷の重厚な建物です。明治27年(1894)に片山東熊によって建設された奈良国立博物館と同じく、我が国最初期の博物館です。館内には金刀比羅宮の宝物が陳列されています。「十一面観音立像」(重要文化財)、「象頭山社頭並大祭行列図屏風」(重要有形民俗文化財)は特に有名です。



金刀比羅宮 表書院



入母屋造、檜皮葺で、萬治年間(1658-1660)の建築です。金毘羅大権現に奉仕する別当金光院が、諸儀式や参拝に訪れた人々との応接の場として用いた客殿でした。建物は、内部の五間に描かれた円山応挙による「鶴の間」「虎の間」「七賢の間」「山水の間」の障壁画とともに、重要文化財に指定されています。円山応挙の障壁画はすべて、応挙晩年にあたる天明から寛政年間にかけての秀作です。また、明治の歴史画家邨田丹陵も二間の障壁画を担当しており、表玄関には森寛斎の障壁画があります。



金刀比羅宮 高橋由一館



金刀比羅宮には日本近代洋画の祖、高橋由一の油絵が27点もあります。由一は明治のはじめ、油絵に馴染みのない一般の人々のために、日常のありふれた生活用品・道具を描いて油絵の普及を図り、特に静止画は、由一によって画題として日本にも定着してきました。当宮にある作品は、明治12年に由一が油絵普及のための資金援助を依頼したとき、琴陵有常宮司が購入したものです。高橋由一館では、27点全ての作品を常設展示しています。

なんと! 2つ目の施設入館料が“特別割引”になります!!

琴平海洋博物館



古くから海の守り神として親しまれてきた「こんぴらさん」の表参道にある、海と船と人の関りを学ぶ博物館です。1階展示室には、江戸時代のこんぴら参詣客が乗船したこんぴら船を展示しています。各階には、船舶模型・エンジンなどの船用機器・江戸後期の巻物等の常設展示と、映像で現在の海運の活躍を紹介しています。屋上には、船の操舵室を模した展望ブリッジがあります。また、企画展示室では、年間を通じて海や船をテーマにした企画展を開催しています。体験施設として、「ラジコン船・操船シミュレーター・可変ピッチプロペラ」、屋外には令和4年「ふね遺産」に認定されたオールアルミ合金巡視船「あらかぜ」や、実物の「ディーゼルエンジン・3気筒焼玉エンジン」等を展示しています。



入館料 特別割引 料金表

ご注意

■宝物館／表書院／高橋由一館

入館者	通常料金	特別割引料金
大人	800円	▶ 500円
高校生・大学生	400円	▶ 300円
中学生以下	無料	

■琴平海洋博物館

入館者	通常料金	特別割引料金
大人	450円	▶ 300円
中学生・高校生	350円	▶ 250円
小学生	250円	▶ 150円

特別割引を受けるには、入館済み施設のチケット半券が必要になります。チケット半券は新規入館する施設の入館料お支払い時にご提示ください。

※特別展など催し物の際は、「特別割引」は適応されません。※ご家族やグループの中でお一人でもチケット半券をお持ちであれば、「特別割引」が全員に適応されます。

〈お問い合わせ〉 ●宝物館／表書院／高橋由一館(金刀比羅宮 社務所) ●琴平海洋博物館
tel.0877-75-2121 | tel.0877-73-3748

